

Press Release



2026年3月26日

トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、札幌市と在宅医療のオンライン診療導入促進に関する連携協定を締結

2040年を見据えた持続可能な医療提供体制の構築に向けて

トランスコスモスは、札幌市(市長:秋元克広)と「在宅医療のオンライン診療導入促進モデル構築に向けた実証設計業務」に関する連携協定を締結しました。本協定に基づき、2026年3月末までの期間において実証設計業務を推進していきます。

SAPPORO

■協定締結の背景

わが国では、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年に向けて、在宅医療需要が大幅に増加することが見込まれています。厚生労働省「新たな地域医療構想等に関する検討会」によれば、全国で在宅患者数は2040年以降にピークを迎え、2040年以降に237の二次医療圏で在宅患者数がピークに達する見通しです。特に人口5万人以上の市区町村では、多数の地域で訪問診療の需要が50%以上増加すると推計されています。

一方で、生産年齢人口の減少により、医療従事者の確保が困難になることが予想されています。現行の地域医療構想が2025年までの入院医療(病床機能)を中心とした取り組みであったのに対し、「新たな地域医療構想」では2040年を見据え、外来医療・在宅医療への対応が重点課題として位置づけられています。こうした国の方針のもと、地域における在宅医療提供体制の構築と、ICTを活用した効率的な診療体制の確立が喫緊の課題となっています。

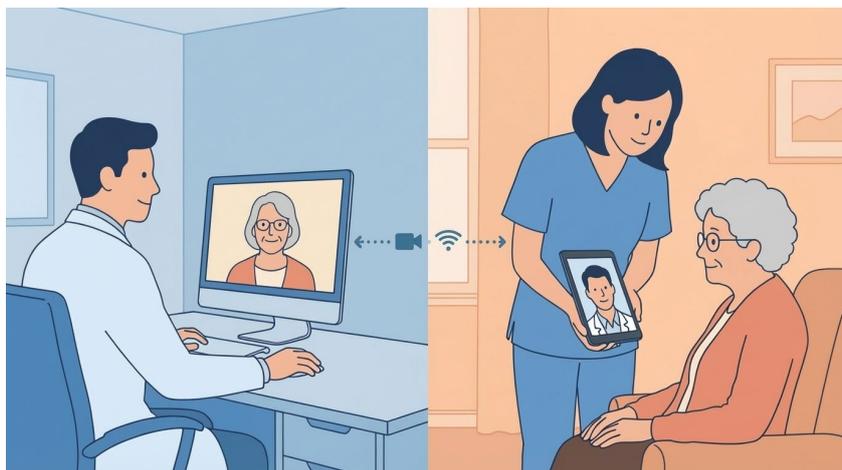
札幌市においても、「さっぽろ医療計画 2024」において、高齢者人口の急増と生産年齢人口の減少を背景に、「在宅医療提供体制のさらなる充実」と「デジタル技術の活用による医療の効率化」が重要施策として掲げられています。限られた医療資源の中で質の高い在宅医療を持続的に提供していくためには、オンライン診療の活用による医師の移動時間削減、診療スケジュールの最適化、そして医療従事者の負担軽減が不可欠です。本事業は、こうした課題に対する実効性のある解決策を設計し、札幌市における持続可能な在宅医療モデルの構築を目指すものです。

■協定の目的と概要

本協定は、札幌市とトランスコスモスが相互に連携・協力し、在宅医療におけるオンライン診療の導入障壁を抽出・解消することで、医師の負担軽減及び診療効率化に資する持続可能なモデルを設計することを目的としています。2026年度に札幌市が実施することを予定している本格実証に向けた基盤づくりとして位置づけられます。

本事業では、「DtoP with N」(Doctor to Patient with Nurse)モデルを中心に検討します。これは、医師が医療機関から、看護師等の医療従事者の補助を受けた患者に対してオンライン診療を提供する形態です。患者宅に看護師等が訪問し、タブレット等のデバイス操作や患者の状態観察をサポートすることで、高齢者や機器操作に不慣れな患者でも安心してオンライン診療を受けられる体制を構築します。このモデルにより、医師の訪問診療における移動時間を削減しながら、対面診療に近い質の高い医療を提供することを目指します。

【図: DtoP with N モデルのオンライン診療イメージ】



■主な実施内容

- ・在宅医療機関へのヒアリング調査(実施状況、課題、ニーズの把握)
- ・オンライン診療導入における運用上・制度上の障壁の抽出
- ・DtoP with N モデルを中心とした実証モデルの設計
- ・実証計画書(案)、基本マニュアル(案)等の作成

■現在の進捗状況と今後の展望

協定締結以降、札幌市内の在宅医療機関へのヒアリング調査を実施し、オンライン診療の導入における課題やニーズの把握を進めています。今後、これらの調査結果を踏まえた実証設計と、2026年度の本格実証に向けた実証計画書等の策定を行います。

本事業を通じて得られた知見は、2026年度に札幌市が実施することを予定している本格実証に活用されるとともに、札幌市における在宅医療の質向上と持続可能な医療提供体制の構築に資することが期待されます。また、全国の自治体における同様の取り組みのモデルケースとなることを目指します。

トランスコスモスは、コミュニケーションサービスで培った知見と自治体 DX 支援の実績を活かし、医療現場と患者をつなぐ顧客接点(CX)の最適化を通じて、持続可能な医療提供体制の実現を支援していきます。

■関連リンク

- 厚生労働省「新たな地域医療構想等に関する検討会」: https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html
- 札幌市「さっぽろ医療計画 2024」: <https://www.city.sapporo.jp/eisei/tiiki/iryouplan/third/index.html>
- 札幌市「医療 DX の推進に係る取組」: <https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/iryuu/torikumi/iryoudx.html>
- トランスコスモスの DX: <https://www.trans-cosmos.co.jp/dec/>

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 36 の国と地域・186 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL : <https://www.trans-cosmos.co.jp>)

報道関係者お問い合わせ先

トランスコスモス株式会社 広報宣伝部 富澤 Tel:03-6709-2251 Email: pressroom@transcosmos.com